

熊本市の性感染症(STI)感染情報

性感染症 (STI) とは 性行為によって感染する病気の事です。感染しても症状に気付かないことが多く、他の人に感染させたり、症状がひどくなって感染がわかるケースもあります。また、よくなっても予防しなければ繰り返し感染することもあります。近年、全国的に報告数が増加しています。熊本市も同様に増加しています。

熊本市保健所に届けられるSTIは次のようになっています

※保健所への届出の必要のないSTIもたくさんあります。



全ての医療機関が感染者を報告する
性感染症 (全数報告)

- ・AIDS/HIV(後天性免疫不全症候群)
- ・梅毒



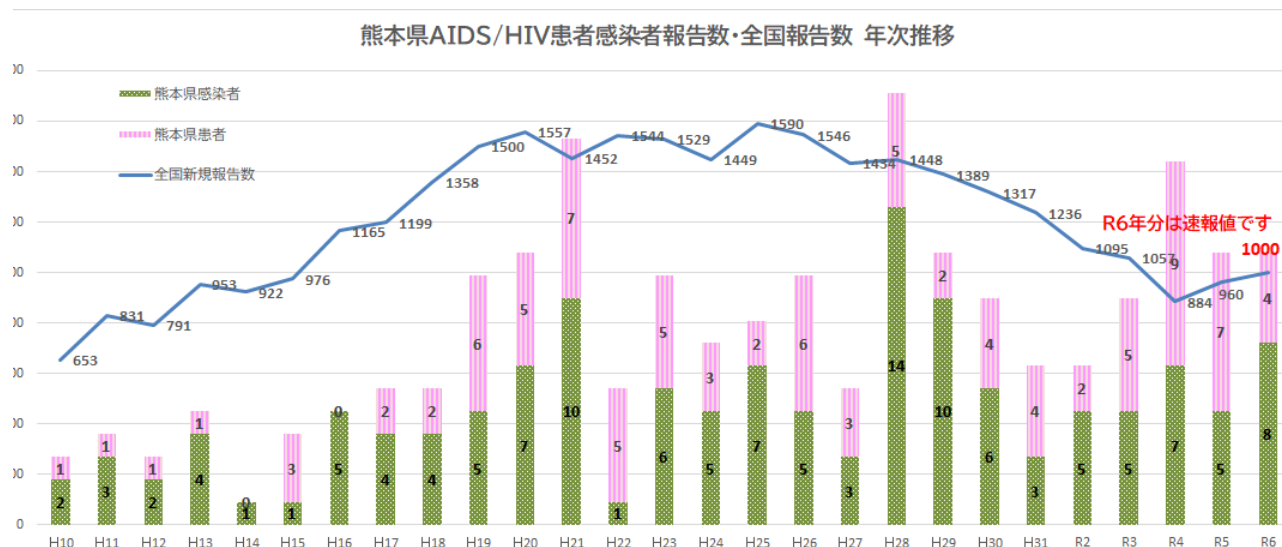
決められた医療機関が感染者数のみ
報告する性感染症 (定点報告)

- ・クラミジア感染症
- ・性器ヘルペスウイルス感染症
- ・尖圭コンジローマ
- ・淋菌感染症



熊本市におけるSTI発生状況 ※AIDS/HIVについては熊本県の報告数。

【AIDS/HIV (後天性免疫不全症候群)】



2024年までの熊本県の累計報告数は、**患者99人、感染者140人**の計**239人**となりました。

全国の新規報告数は2022年(R4)より、再び増加しています。熊本県では、ほぼ横ばいの状態です。

また、エイズを発症してからHIV感染が判明する「**いきなりエイズ**」の割合が、全国平均(3割程度)と比べて高く(4割程度)なっています。

注:HIV≠AIDS HIVはAIDS(後天性免疫不全症候群)の原因ウイルスのなまえです。



熊本市保健所ではHIV (エイズ) 検査相談を予約制で行っています。

詳しくは⇒二次元バーコードから



裏へつづく

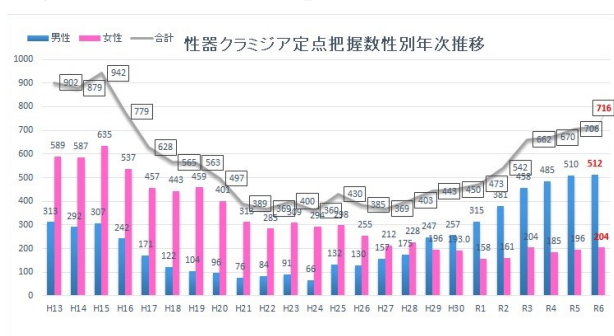
熊本市におけるSTI発生状況

【梅毒】

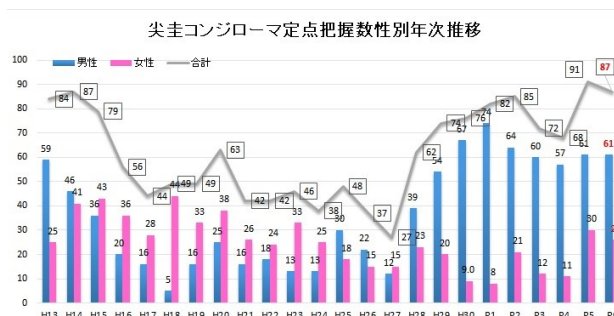


2024年の全国の梅毒の報告数が、全数報告となった2011年以降2番目に多い**14,809人**となりました。2024年の熊本市の報告数は**178人**となり、全体の報告数は昨年より僅かに減少したものの、女性は1.2倍となり、**女性の若い世代の感染の勢いが止まりません!!**

【クラミジア感染症】



【尖圭コンジローマ】



定点報告のSTIについては横ばい状態ですが、依然として報告数が多い状況です。

STIは**症状がわかりにくい**、**完治しても何度も感染する**、**自然治癒しない**などやっかいな感染症です。



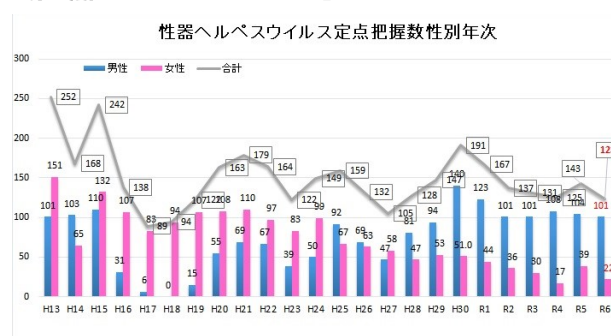
リスクの高い性行為はダメ

不特定多数との性行為

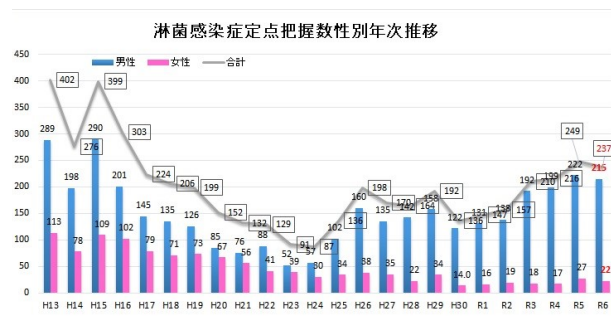
コンドームなしの性行為



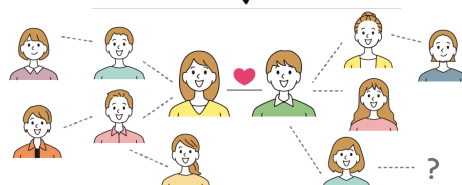
【性器ヘルペス感染症】



【淋菌感染症】



過去と繋がるSTI



性感染症についてのご相談はこちらへ

熊本市保健所 TEL096-364-3189